

2014年（平成26年）11月14日（金曜日）



釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会が博報賞と文部科学大臣奨励賞の受賞を報告

# ダブル受賞を報告

博報賞と釈迦内SP実行委が喜び  
文科相奨励賞

を中核に家庭や地域が一体となり、ヒマワリの栽培から収穫、商品化、祭典などでの販売といった活動を展開。実践的なキャリア教育と地域活性化に努めている。

博報賞は、教育現場で尽力する個人・団体を顕彰するもので、博報財団（東京都）が教育現場の優れた実践活動などに対し、国語・日本語教育、日本文化理解教育、特別支援教育、国際文化理解教育、教育活性化の5部門に分けて贈られる。

大館市でヒマワリを活用したキャリア教育の実践に取り組んでいる釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会（日景賢悟実行委員長）は13日、市教育委員会を訪れ、高橋善之教育長に第45回博報賞と文部科学大臣奨励賞の受賞を報告した。同実行委は、釈迦内小

同実行委は市教委の推薦を受け、新しい教育テーマの開発や学校以外の学び場づくりといった人間力を育てる実践活動が対象の教育活性化部門の博報賞に選ばれたほか、文科相奨励賞を同時に受賞、今月7日には東京都で贈呈式が行われた。

この日は日景実行委員長や同校の三浦栄一校長、児童代表の大川真翔君（6年）、安藤朱凜さん（同）が市教委を訪問。高橋教育長は「サンフラワープロジェクトはふるさとキャリア教育のシンボルであり、地域社会と一体となった活動がたたえられた。これからも大館の未来を切り開く可能性としてプロジェクトを進化させてほしい」となどと受賞をたたえた。

日景実行委員長は「地域の方々にも博報賞の価値を伝えたいと思っている。今後、賞のすごさを説明できる場を設けられれば」と喜びを語った。